



茨城の土木遺産

関宿水閘門 (五霞町)

昭和2年(1927年)竣工

利根川、江戸川改修事業の一環として、江戸川流頭部の付け替えに伴い江戸川の利根川分派部に建設された長さ80.3m、高さ10.6mの水門。平時は利根川から江戸川に流入する水量を調整して用水の確保を図るとともに舟運の安定を期し、洪水時には左岸の高水路部と相まって洪水の分流を行う。躯体は鉄筋コンクリート造り。当時は、大型の河川構造物の建設はレンガ造りからコンクリート造りへの転換期にあり、土木技術史上から価値が高い。近代土木事業として計画的に江戸川分派を見込む利根川改修計画を後世に伝える重要な歴史的構造物でもある。平成15年度に土木学会選奨土木遺産に認定された。

△主な内容▽

- ▼ 石津会長が田村県土木部長と対談
- ▼ 支部対抗チャリティーゴルフ大会を開催
- ▼ 建設産業支援セミナーを開催
- ▼ 各支部がASP講習会やICT体験会

本会ホームページに「茨建協ニュース」の内容を掲載しています。ご活用ください。

本会はコンプライアンス(法令遵守)をさらに徹底します

発行 (一般社団法人) 茨城県建設業協会

〒310-0062 茨城県水戸市大町 3-1-22

電話 029-221-5126 (代)

H P <http://www.ibaken.or.jp/>

編集 日本工業経済新聞社・水戸支局